

福岡便教会だより

第十号 平成二十四年九月十日発行

第十回 福岡便教会・研修会の概要

八月十八日(土)午前八時三十分～十二時十五分、福岡市立柏原中学校(福岡市南区)において、「気づきをテーマに第十回定例研修会を開催しました。

参加者は、教育関係者

五一名、中学生九七名

(柏原中七五、長尾中二二)、

一般と保護者一〇名、合計一五八名でした。

今回は第十回という記念すべき節目の研修会でした。三年前の八月八日「教師の・教師による・教師のための掃除」で謙虚な教師になることを目指して、第一回研修会を開催しました。参加者は回を重ねるごとに増え、平均一〇一名となっています。

この間、各地の掃除に学ぶ会の皆様からのご指導と、理解ある方のご寄付を頂いて掃除道具も揃えることができました。また、福岡市教育委員会のご理解とご協力で活動が充実して参りました。スタッフ一同心から感謝しています。

今回は、会場校の中岡洋校長先生が、便教会のトイレ掃除をきっかけに生徒が学校生活に真剣に取り組んで欲しいとの考えから、幅広く呼びかけられ、大勢の生徒が参加しました。加えて、第八回便教会の会場校だった長尾中の野球部も「掃除をすれば強い選手になれる」と考え参加したようです。



福岡市の掃除マスコット「スタンバード」

研修会のテーマ「気づき」

掃除には、**か**感動・感謝、**き**気づき、**く**工夫、**け**謙虚、**こ**行動の五徳があります。今回は**き**気づきをテーマとしました。トイレ掃除を通して気づきを学び学習や教育活動に活かして欲しいと考えました。

大津市の中2男子生徒のいじめによる自殺から、いじめの悲惨さや残酷さが大きな教育問題としてクローズアップされています。

教師は全ての子どもを守るという強い信念と行動力を持って指導しなければなりません。そのためには、日頃から様々な事象や子ども様子から、その陰にある小さな問題を見逃すことのない「気づき」の感性を研ぎ澄ますことが必要だと思います。

「気づき」について、鍵山秀三郎先生の考えの一部を紹介しましょう。

○ 旅先でホテルに泊まったとき、使ったのは小さなタオル一本とお風呂のバスマットだけです。ゴミ箱のゴミもワイシャツなどの空き袋に入れて全部持って出ます。私の泊まった部屋を掃除に来た人が「ああ世の中にはこんな人もいるんだなあ」と喜んでくださればそれだけでいいんです。

○ ただ真面目にコツコツやれば、人生がよくなるかというところはいきません。よく気づくことから人に好かれて、その上で真面目にコツコツやるのが大切だと思います。

○ どうしたら気づく人になれるか。それはまず**単純で単調で、よくありふれた小さなことを、いつも大切にすること**です。それからもう一つは、**絶えず人を喜ばすこと**です。こうした気持ちで物事に取り組み毎日を重ねると、一年も経

てば人が変わるほど気づく人になります。

「鍵山秀三郎語録」寺田一清・編 致知出版より



阿部委員と長尾中・柏原中代表

松中選手の色紙とサイン入りのボール

ソフトバンクホークスの

松中選手から色紙とボールのプレゼント

昨年十一月の第八回福岡便教会に、長尾中の野球部が「松中選手が熱心に掃除したお蔭で、ホームランが打てたというTV放送を聞いたので、自分たちも掃除をさせてください。」と参加しました。

その成果でしょうか、二十四年度の中体連で市大会準優勝→県大会準優勝→九州大会出場と大活躍となりました。松中選手にこのことを福岡市教委の阿部晶子教育委員が、伝えたところ「練習の励みになれば」と長尾中と柏原中の野球部に色紙とボールをプレゼントしていただきました。

長尾中野球部代表は「野球や掃除を通して成長できるよう頑張ります」とお礼の言葉を述べました。

「**たかが掃除 されど掃除**」、掃除には心を磨く中で、人それぞれが持っているよさを引き出す不思議な力があることが確認できました。

褒める種を蒔いていく

柏原中学校 教師 岡部礼子

いつもは人の話を聞かない、掃除をしない：そんな本校の生徒たちです。予想通り掃除を始める前はだらだらした態度で、「今日の掃除は大丈夫だろうか」と不安でした。ところが、班に分かれて掃除に取りかかると、集中して便器を磨き始めたのです。「すごいね！」と声をかけると汗を拭きながら嬉しそうな笑顔になります。ひとり褒めると「僕のも見て」「こっちもすごいですよ！」と生徒から声がかかります。この子たちはこんな

閉会行事では、生徒はいつもとは違う姿で、最初から最後まで静かに話を聞いていました。このときも「生徒は立派にできる能力を持っているんだ」と思いました。いつもは、清掃や集会のときに「早くしなさい」「静かにしなさい」と指示ばかりしていた私でしたが、指導法を見直す必要があると気づきました。



大村はま先生の言葉に「褒めることは大切です。だがもつと大切なことは褒めることが出来るように、褒める種を蒔いていくことです」とあります。普段の指導では生徒の出来ていないところば

かり見ては「だめです。やり直し！」と言っていました。褒められたらうれしい気持ちが、やる気につながるということを念頭に日々の指導を心がけます。

感想文紹介

☆は中学生

◎は保護者と一般

○は教師です。

一 トイレ掃除を

終えた今の気持ちは？

☆ 今回は長尾中で掃除した

時より、とつても集中して隅々まで掃除できた。今年の中体連はベンチに入れなかった。それは前回掃除に集中できなかったので野球の練習まで響いたと思う。今回は驚くほど集中できたので、これを練習でも活かしていきたい。今日はとつてもいいことを学んだ。

☆ はじめは乗り気でなかったが、だんだん気になるところが増えていき、気づけば床に膝をついていました。非常に有意義な時間でした。

☆ とつても楽しかった。家で掃除をしたことがなかったので、早速家の掃除をします。

☆ 嫌だったけどやり始めたら楽しくなって、一番目の掃除、二番目の掃除、三番目の掃除とやっていくうちに達成感が味わえて、きれいになったとき本当に嬉しかった。

☆ やつていくにつれて顔も体もどんどん便器に近づいていき、自分でもビックリするほどきれいになり



ました。家のトイレ掃除もやってみたいです。

☆ 汚い所もやつていくうちに率先して掃除したいと思えてきて、どんどんきれいになっていきました。

◎ 子どもたちの一所懸命な姿が素直にうれしく感じました。集中力の素晴らしい子、ひとりですたすらに換気扇を磨く姿にジーンとききました。

◎ きれいになって気持ちがよかったです。子どもたちと掃除を通して仲良くなれた。とつても楽しかったです。

◎ 掃除の仕方や道具の使い方を教えていただいたので、スムーズに効率よく作業ができました。

○ 子どもたちが「お前の所見せて。スゲー！俺の便器も見て」というやり取りが見られ、成果を認め合う姿がとつてもうれしかった。

○ 今回は友達や仲間と一緒に協力したことで、より一層の達成感を味わうことができました。

○ 最初は「いつもの掃除とどこがちがうのだろう」という気持ちで不安でした。しかし、リーダー・サブリリーダーの話やアドバイスを頂いて、無心で黙々と活動できたことに感謝しています。

○ 生徒は「嫌だな」という曇った表情でしたが、時間が経つにつれて表情が生きいきしてきました。自分自身改めて掃除のよさに気づきました。掃除は素晴らしい道徳の時間だと思います。

○ 腰が引けていた生徒が「吹つ切れた」瞬間の顔が見られてうれしい気持ちになりました。

○ 中学生が便器に手を突っ込んでいるのに、自分が引っ込んではいけないういう使命感を感じて思い切つて奥まで突っ込みました。こういう機会を与えて頂いて感謝しています。

○ 何か成長したような気がします。少しの勇氣を持って参加しました。一步踏み出すと視野は無限に広がり、自分のためになることを便教会で実感しました。

○ 生徒の表情を見てみるとニコニコ顔で、すごく嬉しそうでこつちまで心が和みました。やりきった充実感を味わっていたと思います。

二 どのような気づきを学びましたか？

☆ 便器の見えない所の汚れや落ちているゴミに気づくことができました。これからの生活に結び付けていきたいと思います。

☆ 最初は遠くから見ていたので、細かい汚れがわからなかったけど、顔を近づけていくと細かい汚れが見えてきてきれいにできました。

☆ 今まででは掃除する場所がないときに、他の人がやっているのを見ているときがありました。手助けがほしい人に気づくようになりたいです。

☆ 壁のほこりや換気扇もすごい汚れで、掃除するのが大変でした。いつもは気づかない所でも隅々まで見るのが大切だと思いました。

☆ 放つていたらこんなに汚くなるから、部活も一所懸命やらないと下手になると思います。

◎ 大人も子どもも同じことをすることで、一体感が生まれた気がした。

◎ 目線を変えて便器を見ると別の汚れが見えます。生活の中でもこんな場面がたくさんあります。ある事に直面したとき、ちよつと視点を変えて見ることも大切だと思いました。

○ チームで黙々と集中してやる力。掃除前と後の

子どもたちの笑顔の輝きが違うところに、この便教会の素晴らしさを感じました。

○ 近づかないと見えるものも見えない。床に手をつき、膝をつけて肌で感じると気づける。

○ 最初はガシャガシャと荒い音が、きれいになるにつれてシャカシャカと澄んだ心地よい音が変わっていくのが発見でした。耳できれいになっていくのが感じられるなんて感動です。

○ 表面は汚れが少ないけど、奥や角の部分に汚れがあることに気づきました。一見きれいに見えても問題を抱えていることを胸に留めて、私生活や学級経営に努めていきます。

○ 言葉で指示するより、「やつて見せる」と効果が大きいと感じました。特に、便器に手を触れるとしっかりと聞いてくれました。

○ 見えない所にゴミは溜まる。見えぬ振りしてもゴミは溜まる。人間も同じだと思いました。

○ 便教会を定期的に実施している福岡市の教育レベルの高さと中学生の年齢で参加できる環境の素晴らしさを感じました。

○ 子どもは、大人のように初めから決めてかからず、素直に嫌がり、驚き、喜び、感動する豊かな感性を持っています。教師として子どもの根本にある輝く心を大切にしたいと思います。

三 この体験を生活や職場でどう生かしますか？

☆ 学んだ気づきで、運動場に落ちているボールを拾ったり、相手の考えを見抜いたりして練習します。

☆ 部活では落ちているボールやランナーのリードに

気づけるよう頑張ります。学校の掃除は隅々まで気をつけ、家では親の掃除の手伝いをします。

☆ 気づいたら行動するというのを習慣にしていきたいです。



☆ 野球は頭を使うスポーツなので、「気づき」はとってもいいテーマと思いました。掃除だけでなく部活や学校生活の中で「気づき」を大切にします。

☆ トイレ掃除は、皆に喜んでもらえるよい活動なので、今後も機会があったら参加したいです。

☆ いつも家の掃除をお母さんにさせているから、積極的に自分からしたいです。

☆ 今日のような掃除道具はないと思うけど、習ったことは絶対忘れず、「気づき」を目標にこれからの掃除に活かしていきます。

◎ 今日の汚れは今日のうちに取り除きます。

◎ 子どもを叱るばかりでなく、一緒に何かをすることでもっと分かり合えるようになると思う。

◎ 毎日掃除することでいつもきれいでいられる。

◎ 子どもがあんなに一所懸命に掃除することが印象的でした。わが子にもトイレ掃除をさせたい。二学期に生徒たちがきれいなトイレを見て驚くだろうな！。

○ リーダーが褒め上手で、声かけもタイミングよく全員にいいところや頑張っているところを褒めて

いました。私も人が気持ちよく活動できるようにさりげなく褒めたいと思います。

○ 人間関係は掃除と同じように気づきが大切だと思ふ。人に近づく姿勢をつくり、きちんと見ないと気づけない。生徒や教師、教材にも近づいてしつかりと気づいていきたい。

○ 人は圧力をかけなくても、自分から先に行動することや褒めてあげること活動することが納得できた。率先垂範を心がけたい。

○ 参加していない生徒にも、トイレ掃除という逃げたくなるような厳しいハードルを越える経験をさせ、掃除の五徳を身につけさせたい。

○ 毎日できる「気づき」の活動は何かを考え、継続できる方法を見つけない。そして、考え方や見方を多様化させていきたい。

○ クラスの中心から外れている子や、子ども一人ひとりの心の奥に抱えている問題から目を背けず、勇気を持って踏み込んでみたいと思います。

○ 教師として常にアンテナを立てて、生徒の変化に気づけるようになりたい。生徒を褒めることと、一緒に行動することで心が通い合えると思ふ。

○ まず、自分の部活の生徒と便教会をやります。普段の学校の清掃時間では、今日のレベルまですることは厳しいと思ふ。短時間に集中して取り組めば、細かいところまで気づきを高めることができると思ふ。この体験を生徒に伝え、掃除に対する意識づけができればいいと思ふ。

○ 自分を乗り越えられた喜びを子どもに伝え、子どもにも同じ喜びを味わわせたい。

○ この掃除は子どもの心を育てるのに有効な教育であると思ふ。総合の時間や道徳、人権教育と合わせて考えてみたい。



掃除を終えて リーダーも PTA 会長も 教師も 笑顔いっぱい ヤッター！

今後の福岡便教会について

● 福岡便教会は、教師の「心磨きのトイレ掃除」の成果を各職場(学校)に持ち帰り、同僚や生徒に広めて欲しいと願っています。そのためにリーダーの経験を積む必要があります。三回目の参加者にはリーダーかサブリーダーを任せ、ベテランは助言者に回してもらおうようにしたいと思います。

● 今回は閉会行事の前に、才守美穂教頭に清掃指導の実践発表をお願いしました。教頭の立場で同僚と児童に助言・指導することは、二面あつて難しいものです。校舎の巡回区域や学年を考えながら、全校の清掃指導に奔走しているそうです。実践発表はすぐに役立つ情報になりますので、

今後も続けていきたいと考えています。

● 事務局の中尾康二教諭が、長野県の中学校で行われている「清掃サミット」にマイカーではるばる行つて来ました。心磨きの掃除を行っている学校の生徒代表が参加し、実践発表、意見交換、協議、清掃交流を行い、成果を持ち帰って、自校の清掃のレベルアップを図っているそうです。福岡市でもぜひ開催したいと考えています。

お知らせのご案内

「心磨きのトイレ掃除」の支援

福岡便教会では、各学校の職員研修や PTA 活動などで「掃除」を計画される場合、できる範囲で支援します。

開催日時や人数など計画を聞いて調整しますので左記へご相談ください。

泊 宏治指導主事 市教委 学校指導課

電話 092・711・4639

第十一回福岡便教会 定例研修会のご案内

日時 平成二十四年十一月十日(土)

午前八時三十分～十二時

会場 福岡市立飯原小学校

住所 福岡市早良区原 7・3・1

電話 092・862・2155

申込み 和白中学校 猪迫広樹教頭

電話 092・606・5031

発行責任者 十時宏徳

粕屋郡篠栗町大字篠栗四六五五一
電話・Fax 092・947・1108